

## 令和 2 年度組織機構及び人事発令に関する記者発表の記録

日 時 令和 2 年 3 月 30 日 (月) 午後 2 時 00 分  
場 所 水道庁舎 4 階 会議室  
記者数 4 人  
同席者 総務部長、職員課長、職員係長  
次 第 令和 2 年度組織機構及び人事発令について



## 令和 2 年度組織機構及び人事発令について

### 説明内容

(市長)

令和 2 年度の組織機構と人事発令について、全庁的に対応を進めている新型コロナウイルス対策を最優先課題として継続するため、4 月 1 日付けの人事異動は最小限にとどめることとしました。主な変更点は、経年により施設などが老朽化する市立総合病院において、救急医療、小児医療、高度医療などを維持し、良質な医療を継続して提供するため、新しい総合病院の整備に向けて、市立総合病院事務部に新病院建設準備室を新設し、取り組みを進めます。次に、一般行政職人事発令の内容を数字でまとめておりますので、参考にさせていただきたいと思います。最後になりますが、組織機構の抜本的な見直しは全く行っていません。部や課の数は変わりませんが、軽費老人ホームの廃止により 1 課 1 係の減、新病院建設準備室の新設により 1 課の増になるため、令和 2 年度のスタート時は前年度より 1 係減となります。

### 質疑応答

(プレス空知)

最小限の人事異動にとどめると判断したのはいつ頃ですか。

(市長)

2 月にはまだ、従来と同じ規模の人事異動を予定していました。その後、2 月末の小・中学校の一斉休校措置やその延長をはじめ、医療機関へのマスクの配布、ひとり親世帯に対する融資制度の創設、経済対策としての長期資金の拡充や短期資金の創設など、現在までいろいろなことに取り組んできました。3 月 19 日の専門家会議によると、道内は収束に向かいつつある、あるいは落ち着いているという状況になるのかもしれませんが、全国的にはかなり厳しい重大な局面を迎えつつあると思います。そこで、当市もそれに的確に対応するため、3 月上旬から、4 月 1 日の人事異動を必要最小限とする準備をしてきました。どこまでの規模でできるのか、鋭意努力してきましたが、まずは 4 月 1 日から現行体制で対策を継続できるようにすることを重点に考えました。

(プレス空知)

「まずは」ということは、これからの年度途中での人事異動もあり得るということですか。

(市長)

その可能性はあると思っています。ただし、現時点ではっきりと言える段階はないというようにも思っています。

(プレス空知)

可能性がゼロではないということですか。

(市長)

はい。

(プレス空知)

女性職員の発令や昇格はどのようになっていますか。

(市長)

今回は、定年退職する部長職の後任やこれに伴って必要となる課長職の後任などを中心に、必要最小限の人事を中心に行い、発令件数は少なく、女性の昇格人事はありません。

(プレス空知)

女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画における数値目標の達成が見込めないことについての市長の受け止めに教えてください。

(市長)

先に申し上げたとおり、今回の人事で女性の昇格者はいません。4月1日現在の女性職員は、市立総合病院も合わせると、部次長職が5人で8.1%、目標値が10%です。課長職が12人で10.1%、目標値が20%です。さらに、新型コロナウイルス対策のため、係長職への昇格者がいまないので、係長職は72人で30.6%、目標値が35%になります。今後、人事異動の可能性がないわけではありませんので、女性職員の昇格・登用に向けては、本人の能力をしっかりと見極めた上で取り組みたいと思います。

(プレス空知)

目標値が高すぎたのでしょうか。

(市長)

目標は目標ですから、今回、このような事情で女性職員の登用が4月1日現在の人事異動でできなかったということが大きな理由になります。新型コロナウイルス対策を優先した結果、このようになりましたので、今後、女性職員の登用について改めて取り組んでまいりたいと思っています。

(プレス空知)

今後の人事異動があった場合、その結果が目標に届くかもしれないということですか。

(市長)

さきほども申し上げた通り、努力しておりますし、女性職員の登用に取り組んでいますが、適材適所が基本ですので、女性だからということでその枠を設けて登用しているわけではありません。できるだけ、結果として、女性職員の能力が発揮できる役職に就いた方が増えてくるのはとても喜ばしいことですし、ぜひそのようなことに向けて努力したいです。

(プレス空知)

女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画を策定してからの5年間に、女性職員が能力を発揮しやすい部門などを新設する動きが見られませんでした...

**(市長)**

女性職員が能力を発揮できる部門を新設する考えはないですね。市民の皆さまのために必要な部門は作りますが、そこに誰が適任かということは性差に関係なく人事を行っています。あくまで適材適所です。女性職員を登用するとシンプルに言えばそうなのでしょうが、例えば、女性が働きやすい職場環境を作っていくことも必要になりますし、いろいろなことを総合的に高めていきたいと思っています。

**(プレス空知)**

発令総数が 98 人とのことで、この中に兼務などがあると思いますが、兼務などを除いた実人数は何人でしょうか。

**(職員課長)**

後ほど、お伝えします。(→86 人)

**(北海道新聞)**

新設される新病院建設準備室は、どこに設置し、この先何を進めていくのか、その概要を教えてください。

**(市長)**

市立総合病院事務部に設置します。この 3 月末までに策定する予定の新病院の基本構想を受けて、新年度に基本計画の策定を始めるということは、既に市議会などでお示ししました。これに南空知地域医療構想調整会議での議論を踏まえて、対応していきます。課長職の室長が 1 人、技術職が 1 人、事務職 2 人の 4 人体制となります。

(注) 記録の内容については、重複した言葉遣いや、明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：岩見沢市秘書課広報係)